

NEWSLETTER

No.6
日

2001年10月24

会長 小泉保 事務局 〒573-1001 大阪府枚方市北片鉾町16-1 関西外国語大学 澤田治美研究
室内

TEL072-856-1721 (代表) FAX 072-855-5534 E-mail: tanaka@kansai-gaidai-u.ac.jp (田中廣明宛)

郵便振替口座 00900-3-130378 口座名:日本語用論学会

<http://www2.justnet.ne.jp/~hiro-tanaka/index.htm>

★会員の皆様、お変わりありませんか。
日本語用論学会Newsletter第6号をお届け
します。さる9月13日に、第13回運営委員
会が開かれました。この号は、そこで討
議された内容を基に編集されています。

★第4回大会ご案内

日本語用論学会第4回大会は来る2001
年12月1日(土)桃山学院大学3号館教
室棟3階(〒594-1198 大阪府和泉市まなび
野1番1号 TEL 0725-54-3131 Fax 0725-54-
3204) 詳しくは <http://www.andrew.ac.jp> まで)
で別紙のプログラムの要領で開催されます。
なお、プログラムの発送その他、例年より
若干遅れまして申し訳ありません。大会開
催にご尽力下さいました桃山学院大学林宅
男教授に感謝いたします。

今年度は、研究発表14件とシンポジウム
1件、さらに午前中にワークショップ14件
が予定されています。去年から新しい試み
として、ワークショップが開かれること
になりました。なお、研究発表は応募が17件
あり、11件が採用、その他3件を懇談発表
者として発表していただくことになりまし
た。その他詳しくは、同封のプログラムを

ご覧下さい。

当日は、受付(午前10時30分開始)に
て、プログラム&アブストラクツ(ハンド
アウト集)及び学会誌(『語用論研究』第3
号)をお渡しします。プログラム&アブス
トラクツは1,000円となっております。受
付でお払い下さい。なお、受付事務簡略化
のため、会費未納の方は同封の振替用紙で
11月末までにお納め下さい。

当日会員は3,000円となっております。
当日会員の方はその他プログラム&アブス
トラクツに1,000円、『語用論研究』第3
号に1,500円必要となります。

ワークショップは午前10時30分より4
室に分かれて開催されます。直接会場へお
越し下さい。ワークショップの受付は行い
ません(ただし、受付は10時半から開けて
おります)。また、会場へのお車でのご来場
はご遠慮下さい。

当日の昼食は食堂があります。学会では、
お弁当その他は用意いたしませんので、学
内の食堂をご利用下さい。

午後6時30分より、キリストセンター(集
会室)において、会員懇親会(会費3,000
円)を行います。受付で会費を徴収します

ので、多数ご参加下さい。

東京方面あるいは、西日本方面からお越しの方は、新大阪駅あるいは大阪駅（梅田）から約 1 時間半ほどの時間を見ておかれるといいと思います。新幹線の**新大阪駅**で下車し、**JR 新大阪駅→地下鉄御堂筋線（新大阪）→（梅田）→なんば駅（新大阪から約 15 分）→泉北高速鉄道・準急（南海電車高野線と相互乗り入れ）→和泉中央駅（なんばから約 35 分）**（あるいは、**地下鉄御堂筋線で新大阪から直接「中百舌鳥（なかもず）」**まで行き、そこから**泉北高速鉄道で和泉中央駅まで**）→徒歩約 15 分あるいはバス（3 番乗り場）「松尾寺」あるいは「美術館前」行きで「婦人子供服団地」または「緑が丘団地」で下車、約 10 分です（ただしバスは 30 分に 1 本くらいの間隔です）。詳しくは、同封の**桃山学院大学周辺交通路線マップ**をご覧ください。

そのほかの同封資料は、**Campus Map**、**大会会場案内図**、**食堂案内**（午前中から参加される方は、大学の構内には食堂は 3 箇所あります。大学周辺にも近隣に数箇所ありますが、当日は時間的制限もありますので、構内の食堂で食べられるほうがいいかもしれません。大学の構内では、一番大きくバラエティのある所から順に「聖バルナバ館」の 2 階キャファテリア（土曜日の営業時間は 10:30-13:30）の他、「聖マーガレット館」の 2 階の食堂（土曜日の営業時間は 10:30-17:00）、それから「カンタベリー館」1 階のファーストフードコーナー（土曜日の営業時間は 11:00-14:00）です。この中では「聖バルナバ館」が御薦めです。他の二つはパン、サンドイッチ類が主になります）、**ホテル案内（大阪南部）**（ただし、学会では、**ホテルの紹介はいたしておりません**）をつ

けております。なお、ホテル情報その他詳しくは <http://homepage1.nifty.com/digicon/kinki.html> をご覧ください。

飛行機をご利用の方は、関西国際空港からですと、南海電鉄バスで和泉中央駅まで（泉ヶ丘駅行き）で約 30 分です。こちらは http://www.kate.co.jp/time_table/izumi_tt.html をご覧ください。ただし、大阪（伊丹）空港からですと、上記のなんば駅まで約 1 時間見ておいてください。

★編集委員会から

『語用論研究』（第 3 号）は現在編集中です。11 編の投稿があり、4 編が採用されました。ほかに、第 3 回大会のシンポジウム、書評、海外の語用論などが掲載されず。第 3 号は会費を納入された方（新入会員も含めて）に学会当日受付でお渡しする予定です。なお、バックナンバー（創刊号は売り切れ、去年の第 2 号のみとなりました）と学会当日会員の方の第 3 号は 1,500 円となっております。

★ 会費の振り込みについて

会費の振り込みにつきましては、大会当日の事務が大変混雑いたしますので、未納の方は同封の振替用紙で 11 月末までにお払い下さい。振替用紙が同封されている方は、今年度分(4,000 円)が未納の方です。同封されていない方は、すでに納入済みですので結構です。また、2 枚あるいは 3 枚同封されている方は、1999 年度、2000 年度の会費も未納の方です。申し訳ありませんが、学会の会計をご理解の上、未納の分も併せてお払い下さい。尚、行き違いがある場合は、

ご容赦下さい。会費の未納が 2 年以上になりますと、会員の資格を失うことになっております。

★役員の一部交替

このたび、役員の一部交替がありました。

*印が新任の方です。詳しくは、『語用論研究』第 3 号の表紙裏面をご覧ください。

企画委員：*西山佑司、西光義弘、杉本孝司

★第 4 回大会のシンポジウム

第 4 回大会のシンポジウムのテーマは「関連性理論との対話」—関連性理論は語用論の新しいモデルになりうるか?」（司会 西山佑司（慶應義塾大学））です。以下は講師の方々と発表のタイトルです。

1. 関連性理論の立場から：今井邦彦（学習院大学）「真の語用論—関連性理論の斬れ味」
2. 言語行為論の立場から：久保進（松山大学）「関連性理論における言語行為理論に対する誤解を解く：発語内関与 (illocutionary commitment)、非字義的言語行為、間接的言語行為を中心に」
3. 認知意味論の立場から：中村芳久（金沢大学）「関連性理論は、発話解釈に内在する主観性と客観性をどこまで正しく捉えられるか?」

★新刊書紹介

小泉保（編）『入門語用論研究—理論と応用—』（2001 年 10 月）研究社。

本書は、語用論のテキストとして編まれた入門書である。大きく、理論編と応用編にわかれ、基礎となる直示、推意、前提、

言語行為、丁寧さ、談話分析などについて平易に解説し、また応用としてジョーク・川柳・レトリック、関連分野として小説（文学）、認知言語学、言語習得、語法研究までふみこんで解説している。

Forum 欄

中国語用学学会見聞録

（小泉保・澤田治美）

大学がホテル経営

今年 8 月初旬、第 7 回中国語用学シンポジウムに参加するため江蘇省の蘇州大学に赴いたが、参加者 150 名全員が大学の運営する東呉大飯店ホテルに投宿した。設備はビジネスホテルなみである。

中語の大学では、学生は全寮制で、教職員の宿舎もキャンパスの中にあるから、生活協同組合のような売店や理髪店もあり、ホテルも経営しているのである。いや、建設班は建物まで構築する。すなわち大学は一大企業であり、学長は社長に相当する。ただし、学長と並んで共産党から派遣された風紀係の大目付がいることを忘れてはならない。

（小泉保）

このたび、中国語用学学会に参加するために、中国蘇州市にある蘇州大学を訪れた。私にとって、はじめての中国旅行であった。蘇州市は、水の都として知られているが、確かに、運河が多く、落ちついた歴史的風情が感じられた。

学会参加者は約 130 名ほどであったが、驚くべきことに、ほぼ全員が発表した。これほどの熱意とエネルギーは、とうてい日本では見られないものである。

学会が終わった後、蘇州市郊外にある、除

夜の鐘で有名な寒山寺におまいりした。高校時代に習った寒山拾得の話を思い出した。

(澤田治

美)

★事務局よりお知らせ

すでに、ホームページでは連絡済みですが、事務局へ連絡用の田中廣明宛メールアドレスが変わりました。

(新) tanaka@kansai-gaidai-u.ac.jp

旧のドメインネームから khc.gaidai-u.ac.jp がとれました。来年 3 月までは、khc.gaidai-u.ac.jp があっても届きますが、4 月以降は上記のメールでしか届きません。来年 4 月から関西外国語大学が新校舎へ移転するためです（ただし、同じ枚方市内）。そのため、日本語用論学会事務局の住所も変わります。新住所など、詳しくは、来年 4 月以降にお知らせいたします。

また、今年の大大会の案内その他は、学会のホームページに掲載しております。

<http://www2.justnet.ne.jp/~hiro-tanaka/index.htm>

なお、研究発表、学会誌の他学会への**二重投稿はお控え下さるよう**お願いいたします。

(事務局 澤田治美・田中廣明記)